

銀を使って花の病気を防ぎます

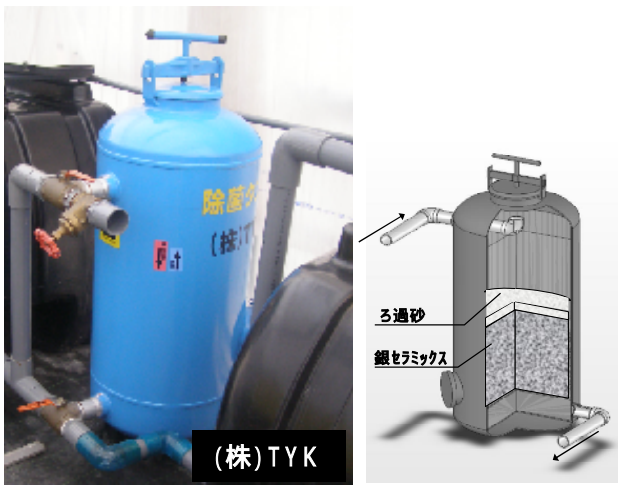
切りバラや鉢花生産では、ロックウール方式やプールベンチ方式などの養液栽培が普及していますが、近年、環境への配慮から養液の循環利用への期待が高まっています。しかし、養液栽培では根腐病や疫病といった水を介して伝染する病害が発生しやすいため、養液の循環利用が難しい状況にあります。そこで、当センターでは環境負荷の少ない防除技術を(株)TYK、岐阜大学と共同で開発しました。(平成17~19年度病害虫総合管理技術推進対策事業)



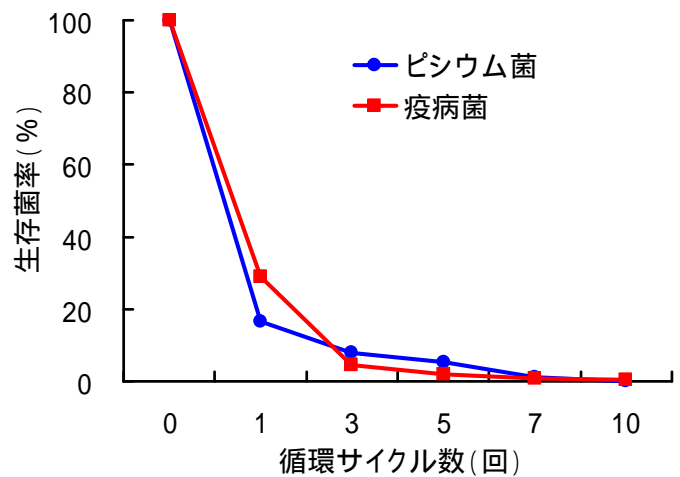
無機銀系抗菌剤は、イオン結合によって銀が担持されているため、溶出量が極めて少ない特徴を持っています。



バラ根腐病に対する防除効果



銀セラミックスを用いた除菌装置



除菌装置の菌密度低減効果

(研究成果)

- ・ 銀セラミックスは、無機銀系抗菌剤をセラミックスに保持させて粒状としたもので、ほとんど溶出しないため、薬害や養液組成への影響はありません。
- ・ Ebb&Flow栽培において、バラ根腐病に対する防除効果が認められました。
- ・ 県内企業が銀セラミックスを使用した除菌装置を製造販売しています。
- ・ この装置により、養液中のピシウム菌や疫病菌の菌密度を低下させることができました。